

令和元年度事業報告

事業の概要

定款第3条の目的である「学術研究の助成及び知識の普及を図る」ため、下記諸事業を行った。

1. 研究等助成事業（定款第4条第1号）

- (1) 研究会助成費 1件 71,692円
若手研究者を奨励する「第32回モロシヌス研究会」に助成を行った。

2. 講演・講習会等開催事業（定款第4条第2号）

- (1) 三島市と遺伝学普及会は連携協定締結事業として「夏休み子ども遺伝学講座」を7月に開催した。また、「遺伝学講座・みしま」を9月に開催した。
- (2) サイエンスカフェ「寺deサイエンス」を、10月に蓮馨寺にて開催した。
- (3) 国立遺伝学研究所創立70周年を記念して、7月に学術総合センターにて公開講演会を開催した。

3. 遺伝学に関する知識の普及と向上をはかるための事業（定款第4条第3号）

- (1) 雑誌「遺伝」編集委員会において、雑誌「生物の科学「遺伝」」の編集を行い、隔月6冊を株式会社エヌ・ティー・エスより下記のとおり発行した。

「生物の科学「遺伝」」
2019年 5月号 特集「ウマの世界」他
2019年 7月号 特集「昆虫の不思議」他
2019年 9月号 特集「死体に学ぶクジラ・イルカの秘密」他
2019年11月号 特集「ミツバチ新時代」他
2020年 1月号 特集「日中パンダ研究」他
2020年 3月号 特集「ライチョウは守れるか」他

- (2) 国立遺伝学研究所の協力により、(株)エフエムみしま・かななみにおいて普及会放送事業サイエンスNOWを実地した。

4. 遺伝学に関する教育資料の頒布事業（定款第4条第4号）

教育研究資料の頒布等を下記のとおり実施した。

・冊子 「遺伝研のさくら」 5版	461冊
・雑誌「遺伝」特別編集版	249冊
・絵葉書 「国立遺伝学研究所の桜」〔Ⅱ〕	11部
「国立遺伝学研究所の桜」〔Ⅲ〕	11部
「国立遺伝学研究所の桜」〔Ⅱ〕 + 〔Ⅲ〕	22部
・桜マグネット	97個
・桜ストラップ	90個
・桜LED付きキーホルダー	144個
・CD-ROM	33枚

5. 動植物に関する優良品種の普及事業（定款第4条第5号）

(1) 変化アサガオの種子及び絵葉書「国立遺伝学研究所のアサガオ」の頒布を行った。

- ・変化アサガオの種子 2485袋
- ・絵葉書 「国立遺伝学研究所のアサガオ」 6部

6. その他前条の目的を達成するために必要な事業（定款第4条第6号）

(1) 国立遺伝学研究所の委託を受けて桜樹木維持管理及び接木事業を行った。

そ の 他

1. 維持会員

法人の目的を達成し、健全な事業活動を維持するために必要な財政基盤を増大するために維持会員の募集を行った。

維持会員（個人会員）1名の入会申し出があった。

令和2年3月31日現在 団体会員 10社 13口 個人会員 5名 12口

2. 遺伝学振興基金

令和元年度中にはありません。

3. 寄附金

- (1) 令和元年7月に鈴木滋子様より一般寄付金として5千円の寄付があった。
- (2) 令和元年7月に金指英樹様より一般寄付金として5千円の寄付があった。
- (3) 令和元年7月に赤城宏和様より一般寄付金として1万円の寄付があった。
- (4) 令和元年7月に赤城博由様より一般寄付金として1万円の寄付があった。

※所属研究団体日本遺伝学会の事業報告書を添付書類としてつける・・・・・・・・別添資料I